10　家庭

学校番号	3020

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　家庭基礎　グローバル＆サスティナビリティ」　（教育図書）						
副教材等	2020　生活学 Navi　資料＋成分表（実教出版）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題をワークや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２ 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
主たる評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録表 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、 実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	人の一生と青年期の課題	○「家庭基礎」の学び方 ・小中学校での学習の振り返り ＊「ライフプラン」を描く ○人の一生と生涯発達 ・人のライフステージと課題 ＊自己を知る ○青年期の課題と自立 ＊自立度チェック	 ○ ○	 ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d:青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
	家族・家庭と社会	○現代の家族・家庭 ○家族・家庭と法律 ＊家族法クイズ ＊ワークショップ ○家族・家庭と社会 ・ワークライフバランスの実現をめざして	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	a:家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付けている。 d:生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
	子どもと子育て	★この単元は1年間にわたって学習する ○子どもの成長・発達 ・体と心の成長・発達 ○子どもの生活と保育 ・子どもの生活、遊びとおとなのかかわり ・子どもの健康・安全とおとなのかかわり ＊潜在危険 住まいの衛生・安全チェック 「子どもの食事」 ＊離乳食実習 「子どもの被服」 ＊おむつを科学する ○子どもを取り巻く環境 ＊しつけを考える (□ 囲みの部分は、後期に実施)	 ○ ○	 ○ ○	 ○	 ○ ○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 観察記録表 定期考査

	高齢者の生活と福祉、	○高齢期という時期 ○高齢期の生活を支える 高齢者福祉 ＊「高齢者インタビュー」 ○高齢社会の現状と課題	○ ○ ○	 ○	 ○	○ ○ ○	a:高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d:高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 定期考査
		1学期期末考査		○	○	○		定期考査

8月		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊自由テーマ 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価
2学期	共生社会	○ともに生き、ともに自立する ・あなたにとっての共生 ・地域活動とボランティア ○生活と社会の セーフティネットワーク ＊調査研究、グループ発表	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:共生社会と福祉について家庭や社会の一員として関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざし社会の一員として何ができるか考え、工夫している。 c:地域で行われているコミュニティ活動や NPO 活動などについて、情報を収集・整理したり、参加したりする技術を身に付けている。 d:共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的な支援が果たす役割を認識するための知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価 定期考査

2学期	食生活	○食生活の成り立ち ○栄養と食品 ・何をどれだけ食べたらいいのか？ ○安全な食生活 ○調理の基本 ＊調理実習3回 （10月～2月）	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習計画 実習レポート 実技テスト 定期考査
	衣生活・子どもと子育て	○衣生活をみつめる ＊自分に似合う色とは？ ○着ごこちのよい被服 ＊衣服を自分で直そう ○衣生活の計画と管理 ○親として共に育つ ・子どもの生活と保育 「子どもの被服」 ＊おむつを科学する ○子どもを取り巻く環境 ＊親子にインタビューしよう	○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。 d:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 製作計画 実習レポート 製作物 定期考査
12月		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊お正月を科学する 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	レポート 発表 自己評価 相互評価
		2学期期末考査		○	○	○		定期考査

3学期	住生活をつくる・子どもと子育て	○健康で安全な住生活 ・安全で快適な住居 ＊住宅広告を読む ・ライフステージにあった住居 ＊子ども部屋を考える ○子どもを取り巻く環境 ＊しつけを考える	○	○	○	○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 定期考査
	経済生活の設計・生活をデザインする	○現代の消費生活 ・多様化する購入・支払い方法 ○持続可能な社会をめざしたライフスタイル ○ライフプランを考える ・未来をデザインするために ＊生活設計に必要な要素	○ ○	○ ○ ○	○	○ ○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　＊は、ワーク、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。